

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2006年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 上尾運動公園陸上競技場使用上の注意

- イ) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- ロ) 更衣室は指定された場所を厳守して使用すること。また、荷物は各大学で責任を持って管理すること。
(更衣室は各日使用した個人が使用後清掃すること)
- ハ) 競技場は全天候舗装である。(第143条「競技用靴」の項を参照)
- ニ) トレーナー活動場所は2F選手控室A(諸室図参照)に限り、更衣室などでの活動は禁止する。トレーナー活動は事前に大会本部の許可を受けた参加校(その他)に限る。なお、荷物は各大学で責任を持って、管理すること。貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。

3. 日産スタジアム使用上の注意

- イ) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- ロ) 更衣室は指定された場所を厳守して使用すること。また、荷物は各大学で責任を持って管理すること
(更衣室は各日使用した個人が使用後清掃すること)。
- ハ) トレーナー活動場所は202控室に限り、更衣室などでの活動は禁止する。また、トレーナー活動は事前に大会本部の許可を受けた参加校(その他)に限る。なお、荷物は各大学で責任を持って、管理すること。貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。また、貼紙をテープなどで貼り出さないこと。もしも貼紙をして壁などを傷つけた場合、弁償として実費を請求する。
- ニ) 競技場は全天候舗装である。(第143条「競技用靴」の項を参照)
- ホ) 競技場内でのすべての電源の使用を禁止する。
- ヘ) コンコース(回廊)の場所取りをする際にビニールシートなどを敷く以外にテントなどを張らないこと。
- ト) 練習場との距離が遠いからといって、コンコースでの自転車の使用は厳禁とする。

4. 練習について

<上尾公園陸上競技場の場合>

- イ) 練習場所については上尾運動公園陸上競技場補助競技場(土のグラウンド)を使用すること。
- ロ) ダッグアウト、コンコース(回廊)での周回練習は、事故防止のため厳禁とする。
- ハ) フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。
- ニ) 棒高跳の練習は本連盟で用意したゴム紐を使用して行う。

<日産スタジアムの場合>

- イ) 練習場所は、日産フィールド小机、投擲練習場、240室内走路、1階雨天走路の4箇所のみとする。
- ロ) ダッグアウト、コンコース(回廊)での周回練習は、事故防止のため厳禁とする。
- ハ) 投擲種目の練習については、投擲練習場で行うこと。なお、練習場係の指示に従い、決して事故のないように心がけること。また、競技場内での公式練習は1回とする。
- ニ) 棒高跳の練習は本連盟で用意したゴム紐を使用して行う。

5. ナンバーカードについて

ナンバーカードは正規のものを2枚配布する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、走高跳、棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配布の写真判定用腰ナンバー標識をパンツの右下や後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
なお、5000m、10000mは別のナンバーカードを使用する(競技者係で配布)ので、注意すること。

ナンバーカードの地色、数字の色は下記の通りとする。

種目	ナンバーカード
• 男子1部	黄色地×黒数字
• 男子2部	白色地×黒数字
• 女子	ピンク地×黒数字
• 4×400mR	白色地×赤数字
• 5000m、10000m	水色地×黒数字

6. 競技者の招集について

<上尾運動公園陸上競技場の場合>

イ) 競技者招集所は9番ゲート(200mスタート地点付近)に設置する。

ロ) 各種目の招集完了時間は下表の通りとする。なお、下記招集完了時間は競技日程を基準とする。

競技種目		ラウンド	組	完了
トラック	• 男子1部・2部・女子全種目 3000mSCを除く	予選	1～3	競技開始定刻 20分前
			4～	競技開始定刻 10分前
	• 男子1部・2部3000mSC	予選	1	競技開始定刻 20分前
			2	競技開始定刻 10分前
• 男子1部・2部・女子全種目	決勝 準決勝		競技開始定刻 20分前	
フィールド	• 男子1部・2部・女子全種目 棒高跳を除く	決勝		競技開始定刻 30分前
	• 棒高跳	決勝		競技開始定刻 100分前

<日産スタジアムの場合>

イ) 競技者招集所はマラソングート(100mスタート地点付近)に設置する。ただし、10kmW、ハーフマラソンはそれぞれスタート地点集合とする。

ロ) 各種目の招集完了時間は下表の通りとする。なお、下記招集完了時間は競技日程を基準とする。

競技種目		ラウンド	組	招集完了時間
トラック	• 男子1部・2部・女子全種目	予選	1～3	競技開始定刻 20分前
			4～	競技開始定刻 10分前
	• 男子1部・2部・女子全種目	決勝 準決勝		競技開始定刻 20分前
フィールド	• 男子1部・2部・女子全種目 棒高跳を除く	決勝		競技開始定刻 30分前
	• 棒高跳	決勝		競技開始定刻 100分前
ハーフマラソン 10kmW		決勝 決勝		競技開始定刻 20分前 競技開始定刻 20分前

<共通事項>

ハ) 競技者の競技実施エリアへの入場は担当審判員の指示による。

ニ) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。また、同時進行種目への出場競技者は重複出場者届(招集所に用意)を競技者係に提出すること。

ホ) 招集完了時間に少しでも遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので十分注意すること。

ヘ) リレー競走は、オーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、第1組の招集完了1時間前までに競技者係に提出すること(メンバーについては第170条を

参照のこと。

ト) 混成競技については 10.競技についてのへ)混成競技についての を参照すること。

7. 棄権について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は不出場届(大会本部指定の用紙、大会本部に用意)に必要事項を記入、捺印し、競技者係に提出すること。また、日産スタジアムの場合は競技者係に用意する。

8. 競技の抽選・番組編成

イ) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。上尾運動公園陸上競技場においてはエントリーが7名以下の場合は、1レーンを空けて2レーンから行う。日産スタジアムの場合においては8名以下の場合は、1レーンを空けて2レーンから行う。

ロ) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。練習は審判員の指示に従って行う。

ハ) 準決勝以降の組み合わせおよびレーン順・試技順は主催者が公正に抽選する。

二) レースのすべてを各自のレーンで行う種目において、同タイムの者(チーム)があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が同記録者の写真を拡大して、タイムだけでなく、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い決定する。

9. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし棒高跳用ポールとやり投用やりは、個人所有のものが使うことができる。なお、競技場にないやりは検定を受けて許可を得られたものについて、主催者借上げの共用やりとして持ち込むことができる。なお、検定は招集完了1時間前に用器具庫にて行う。

10. 競技について

イ) 跳躍競技(高さで順位を決定する競技)のバーの上げ方は下表の通りとする。

走高跳		練習	1	2	3	4	以後、最後の1人になり、優勝が決まるまでは3cm刻みとする		
	1部	1.95	2.00	2.05	2.10	2.13			
	2部	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05			
	女子	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73			
棒高跳		練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の1人になり、優勝が決まるまでは5cm刻みとする
	1部	4.50	4.60	4.70	4.80	4.90	5.00	5.10	
	2部	3.80	4.00	4.20	4.40	4.50	4.60	4.70	
	女子	2.30	2.50	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	

ロ) 計時について

トラック競技の計時はすべて電気計時(1/100秒)を用いて行う。10kmW・ハーフマラソンは手動計時とする。

ハ) 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子13m、女子9mとする。

二) 給水について

5000m以上の種目では、給水所に水及びスポンジを用意する。長距離種目はバックストレート側に設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。10kmW、ハーフマラソンについては西ゲート橋付近にて行なう。

ホ) 10kmW・ハーフマラソンについて

日産スタジアム付設の10km・ハーフマラソンコースにて行う。また、10kmWに関しては2周

遅れの者はレースを中止させる場合がある。ハーフマラソンにおいては1周遅れの者はレースを中止させる場合がある。

へ) 混成競技について

招集は1日目、2日目の最初の競技種目開始予定時刻の30分前に招集所で完了する。以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係員の指示を受けること。混成競技者控室は、男子は2F選手控室B・C(上尾運動公園陸上競技場)、女子は210・3号更衣室(日産スタジアム)に設置する(競技場見取り図参照)。

混成競技者控室への付添い、コーチ等の出入りは認めない。

トイレに行きたくなくなった場合はその旨を混成競技係に申し出て、付き添いを伴えば最寄のトイレへ行くことができる。

走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.93	以後、3cm刻み
	女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	1.66	
棒高跳	男子(低)	2.50	2.70	3.00	3.30	3.60	3.80	4.00	4.10	以後、10cm刻み
	男子(高)	3.40	3.60	3.80	4.00	4.10	4.20	4.30	4.40	

11. 表彰について

- イ) 男子1部、2部、女子の総合、トラック、フィールド優勝校、男子1部多種目優勝校を表彰する。
- ロ) すべての競技終了後、本大会最優秀競技者を男子1部、2部、女子各1名選出し、表彰する。
- ハ) 各種目3位までに入賞した者は、競技終了後ただちに表彰を行うので、受賞者集合場所に待機し、表彰係の指示に従うこと。
- ニ) 各種目4位から8位までに入賞した競技者は、賞状を授与するので、大会期間中に表彰係室で賞状を受け取ること。
- ホ) 表彰を受ける際は、各校の公式ユニフォームを着用すること(ナンバーカードも付けること)。
- ヘ) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。

12. 対校得点及び順位

- イ) 対校得点は各種目1位8点から8位1点まで1点刻みとする。同順位により、対校得点を割る場合には、小数計算(ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする)を行う。その計算は対校得点計算係(記録係補助員)が行う。
- ロ) 優勝校は最多得点校1校とする。最多得点校が2校以上ある場合は、各競技種目で上位入賞者の多い順に決定する。これで決定しない場合は、4×400mR(女子は4×100mR)の順位で決定する。
- ハ) ロ)によって優勝校が決定しない場合は、本連盟評議員会の諮問を経て、本連盟幹事会が決定する。
- ニ) 2位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は、ロ)に準じて決定する。
- ホ) 男子1部、2部の入れ替えについては、2部優勝校と2位校が次年度1部に昇格する。また1部においては下位の2校が2部に降格する。また1部最下位校が無得点で3校以上となった場合は、その全大学が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。また、1部最下位校が同得点で3校以上が並び、ロ)によっても順位がつかない場合は抽選により2校が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。

13. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(上尾;アナウンス 日産;電光掲示)されてから30分以内(予選、準決勝は15分以内)に、大会本部にて担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。

抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書と、預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

14. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守する。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

15. 衣類の管理について

- イ) すべての競技者は、主催者が用意した袋を衣類等の管理に使用することができる(基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと)。
- ロ) トラック種目に関してはスタート前に脱衣した衣類等は籠に入れ審判員が指示した場所に置くこと。
- ハ) これらの衣類は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。

16. その他

- イ) 2006年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。
- ロ) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んではいない。
- ハ) 競技運営上、多少の競技日程変更がありうる。
- ニ) 競技場内での競技者への付添は一切認めない。
- ホ) 式典について
 - 開・閉会式に参加する各大学の旗手、選手(閉会式に限る)は下記の通り集合し、式典担当者が指示する。
 - ・ 開会式 13日 9:15集合 100mスタート付近
 - ・ 閉会式 21日 15:30集合 マラソンゲート(100mスタート地点付近:1部校) 第1ゲート(100mフィニッシュ地点付近:2部校、女子)

ヘ) IDについて

下記の区域に立ち入る者は、以下の通り必要となるIDを所持していなければならない。出場競技者は必ずIDをつけ、ナンバーカードでの競技運営エリア内への入場は認めない。

区 域	必要とするID(いずれか1つで可)
メインスタンド下部施設内	各種ネームプレート・各種リボン・招待状
競技実施エリア・ダッグアウト	各種ネームプレート・各種リボン・報道用腕章

ト) 応急処置について

競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする。(競技者保険の適用)また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。

チ) 盗難・紛失について

盗難・紛失について主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。(遺失物等は学連控室で管理する。)

リ) 応援について

メインスタンドでの部旗・横断幕の掲出は禁止とする。

所定の場所に部旗・横断幕を掲出する場合は、必ずひもを使用し、ガムテープ・クラフトテープの使用を禁止する。

集団応援は、バックスタンド中段の指定された場所で行う(上尾の場合は主催者側でロープを張るのでその限られた範囲で行うこと)。

メガホン・鳴り物等による応援は一切認めない。

上尾運動公園陸上競技場及び日産スタジアムの開閉門時間について

	(開 門)	(閉 門)
第1日目<5月13日(土)>	7:30	19:30

第2日目<5月14日(日)>	7:30	19:30
第3日目<5月20日(土)>	7:30	17:30
第4日目<5月21日(日)>	7:30	17:30

開・閉門時間は厳守のこと。違反した場合は、厳重に処罰する。

又) 駐車場について

参加校の車両は場内に駐車することはできない。荷物の積み降ろしが終わり次第、一般駐車場等に速やかに移動すること。近辺での路上駐車は厳禁とする。

ル) その他、不明の点は大会総務に問い合わせること。